

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】保育内容（音楽表現）		
担当者(Instructors)	水野 伸子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
乳幼児の音楽的発達過程を理解し、具体的な保育場面を想定しながら、養護と教育の観点から子どもの実態や状況に即した音楽的な援助や関わりができる知識・技術・判断力を習得する。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習、および実技形式で行うが、サウンドスケープの内容ではフィールドワークを、音楽づくりではグループワークを取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	本授業の目的と授業計画、自己課題の設定	本授業のねらいと授業計画を理解し、自らの課題を明確にする。	☐
第2回	幼児期の学びとそれを支える人間関係	音への興味からわかる幼児の音楽的な発達のみちすじと、その音楽的経験を支える周りの人間関係について理解する。	☐
第3回	音遊びにおける幼児の認識や思考の過程	手作り楽器で遊ぶ幼児の事例から、乳幼児の音に対する認識や思考の過程を知る。	☐
第4回	領域「表現」のねらいと内容	幼稚園教育要領・幼保連携型認定子ども園教育・保育要領・保育所保育指針における領域「表現」の内容を理解する。	☐
第5回	他領域と関連させた保育の構想	わらべうたの教育的意義について、言語表現・身体表現・造形表現との関係から整理する。	☐
第6回	幼児期の音感覚、日本人の音楽的文化的化	母語のもつリズムや音程から培われる伝統的な音感覚と現代文化である西洋音楽の音感覚が融合されて幼児期の音感覚が形成される過程を理解する。	☐
第7回	乳幼児期の音楽的発達	乳幼児の音やリズムに対する反応から、音楽的発達のみちすじを理解する。	☐
第8回	民俗学の視点から捉える人間と音楽の関係	縄文時代や弥生時代に生きていた先祖は、どのように音や音楽と関わってきたのか、その原初的な関係を検討することにより、人と音や音楽との関係を問い直す。	☐
第9回	リトミックと身体表現による保育の構想、教材の活用	人間の身体の中にあるリズムをきっかけにして動きに転換し、音楽的理解にかえたリトミックの考え方を理解し、保育に活かす方法を知る。	☐
第10回	コダーイ・メソッドとわらべうたによる保育の構想、情報機器の活用	声を重視し、歌うこと、特に母語からなるわらべうた、ハンドサイン、トニック・ソルファ法を理解し、保育に活かす方法を知る。	☐
第11回	オルフ・メソッドとリズムによる保育の構想と情報機器及び教材の活用	人と音楽の原初的な関係から、エレメンタール（根元的）な音楽のあり方を理解し、保育に活かす方法を知る。	☐
第12回	療法的音楽活動、幼稚園教育における評価の考え方	人が心身ともに健康に生活することを目指し、子どもの側に立つて行なう療法的音楽活動の方法を知り保育に活かす方法を知る。	☐
第13回	音遊びによる模擬保育とその振り返りによる保育を改善する視点の理解、及び指導案の作成	実際に音遊びによる模擬保育を体験し、子どもの反応を予測し、それを基に指導案を組み立てる	☐
第14回	うたによる模擬保育とその振り返りによる保育を改善する視点の理解、及び指導案の作成	実際にうたを用いた模擬保育を体験し、子どもの反応を予測し、それを基に指導案を組み立てる。	☐

第15回	幼児の発達や学びの過程を踏まえた指導案の作成	発達や学びの過程を踏まえ、乳幼児の音楽表現はどのようにあることが望ましいのか自分なりの考えを持つ。	☐
------	------------------------	---	--------------------------

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
・事前学習：次の授業で学ぶ関連テキストの章を読み、わからない音楽用語や疑問に思う内容を明確にする（2時間程度）。 ・事後学習：授業でわかったことや疑問に思うことなどをノートに整理するとともに、課題レポートに取り組む（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
提出されたレポートは添削して返す。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	幼児の音楽的発達や学びの過程を説明できる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	具体的な子どもの反応を想定して保育を構想することができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	30%	70%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
授業内課題レポート				

■テキスト(Textbooks)		
No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『実践しながら学ぶ子どもの音楽表現』（保育出版社）	
2	「幼稚園教育要領」（平成29年3月告示 文部科学省）	
3	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省）	
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		